

行政經營改革大綱

施策別 行政サービス成果表

視点	05 行政経営改革大綱		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	10 挑む	コスト 合計	50,389千円	49,956千円	86,483千円			186,828千円
施策	45 参画と協働のまちづくりを推進します							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
参画と協働のまちづくり推進事業	43,517千円	42,966千円	0千円	86,483千円	総合政策部 参画協働室

【施策評価指標】

評価指標				傾向														
1 「参画と協働」という言葉を知っている市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「参画と協働」という言葉を知っている市民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>45.3</td></tr> <tr><td>H25</td><td>38.1</td></tr> <tr><td>H26</td><td>36.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>31.7</td></tr> <tr><td>H28</td><td>60.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>60.0</td></tr> </table>	年次	割合 (%)	基準値	45.3	H25	38.1	H26	36.4	H27	31.7	H28	60.0	目標値	60.0
	年次	割合 (%)																
	基準値	45.3																
	H25	38.1																
H26	36.4																	
H27	31.7																	
H28	60.0																	
目標値	60.0																	
実績値の評価・分析			昨年度より4.7ポイント低下しており、「参画と協働」という言葉を意識する機会が少なくなった可能性がある。															
目標達成に向けた今後の課題			市民への情報発信を行う場合には、出来る限り「参画と協働」が身近なものであることを説明し、認知度を高めていく必要がある。															
担当課			総合政策部 参画協働室															

評価指標				傾向														
2 「参画と協働」の取り組みをおこなったことがある市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「参画と協働」の取り組みをおこなったことがある市民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>8.5</td></tr> <tr><td>H25</td><td>5.5</td></tr> <tr><td>H26</td><td>4.9</td></tr> <tr><td>H27</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>H28</td><td>30.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>30.0</td></tr> </table>	年次	割合 (%)	基準値	8.5	H25	5.5	H26	4.9	H27	3.7	H28	30.0	目標値	30.0
	年次	割合 (%)																
	基準値	8.5																
	H25	5.5																
H26	4.9																	
H27	3.7																	
H28	30.0																	
目標値	30.0																	
実績値の評価・分析			昨年度より1.2ポイント低下しており、「参画と協働」に対する意識の低さが影響していると考えられる。															
目標達成に向けた今後の課題			市民が気軽に行政へ参画できる機会についてPRを強化するとともに、互いに協力することの大切さを分かりやすく表現する必要がある。															
担当課			総合政策部 参画協働室															

評価指標				傾向														
3 仕事を進めるうえで、「参画と協働」を意識している職員の割合	定義	方向性	参画と協働のまちづくりに関する職員アンケートより	<p>仕事を進めるうえで、「参画と協働」を意識している職員の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>47.9</td></tr> <tr><td>H25</td><td>50.3</td></tr> <tr><td>H26</td><td>50.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>55.3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>60.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>60.0</td></tr> </table>	年次	割合 (%)	基準値	47.9	H25	50.3	H26	50.0	H27	55.3	H28	60.0	目標値	60.0
	年次	割合 (%)																
	基準値	47.9																
	H25	50.3																
H26	50.0																	
H27	55.3																	
H28	60.0																	
目標値	60.0																	
実績値の評価・分析			平成26年度から始めた若手職員向けの研修の実施などにより、数値は上昇している。															
目標達成に向けた今後の課題			参画と協働になじまない内部管理事務を行う職員や若手職員などの意識を向上させるため、研修を充実した内容にするなど新たな取組が必要である。															
担当課			総合政策部 参画協働室															

施策別 行政サービス成果表

視点	05 行政経営改革大綱		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	10 挑む	コスト 合計	124,188千円	131,484千円	281,071千円			536,743千円
施策	46 革新し続ける行政経営をめざします							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
総合計画策定・管理事業	274千円	8,761千円	0千円	9,035千円	総合政策部 経営改革課
政策企画・立案事業	8,645千円	52,566千円	0千円	61,211千円	総合政策部 経営改革課
組織・定数管理事業	3千円	8,761千円	0千円	8,764千円	総合政策部 経営改革課
行財政改革推進事業	53千円	17,522千円	0千円	17,575千円	総合政策部 経営改革課
行政経営推進事業	607千円	8,761千円	0千円	9,368千円	総合政策部 経営改革課
魅力創造事業	148,835千円	26,283千円	0千円	175,118千円	総合政策部 かわにし魅力推進室

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 前期基本計画の施策評価指標達成率	定義	方向性	目標を達成した施策評価指標数÷全施策評価指標数	<p>前期基本計画の施策評価指標達成率</p>
	実績値の評価・分析		<ul style="list-style-type: none"> 全131指標のうち128指標※について、平成27年度には合計21指標が目標値を達成しており、達成率は前年度より3.9ポイント上昇した。 ※施策指標達成率、実質赤字比率、連結赤字比率の3指標を除く。 	
	目標達成に向けた今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> 目標値は達成できていないが、今後より多くの指標が目標値を達成できるように、各担当課の事業について、確認・調整を行うとともに、市民と協働しながら各事業に取り組んでいく。 	
	担当課		総合政策部 経営改革課	

評価指標				傾向
2 市役所窓口サービスの満足度	定義	方向性	来庁者アンケートより	<p>市役所窓口サービスの満足度</p>
	実績値の評価・分析		<ul style="list-style-type: none"> 窓口アンケートでは、全体的に好意的な意見が多く、前年度より0.2点上昇する結果となった。 接遇面などにおいて、高水準の窓口サービスの維持・向上が図られている。 	
	目標達成に向けた今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> 窓口サービスの満足度は、年々上昇傾向にあるが、市民の方からいただいた意見をもとに改善を行い、さらなる市民サービスの向上に努めていく。 	
	担当課		総合政策部 経営改革課	

評価指標				傾向
3 職員満足度	定義	方向性	職員満足度アンケートより	<p>職員満足度</p>
	実績値の評価・分析		<ul style="list-style-type: none"> 前年度より微増となった。 仕事に関する満足度は、「仕事のやりがい」、「相談できる人」の値が高い。 仕事を進める上でのサポート体制は一定整っている。 	
	目標達成に向けた今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> 目標値の達成に向けて、他部署とも連携しながら、職員が働きやすいと感じ、能力をいかんなく発揮できる職場づくりを推進していく必要がある。 	
	担当課		総合政策部 経営改革課	

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向
4 行財政改革目標効果額の進捗率	定義	方向性	行財政改革前期実行計画期間中の目標効果額に対する各年度実績(累計)の割合	<p>行財政改革目標効果額の進捗率</p>
	実績値の評価・分析		<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度は未利用公有地の売却や新たな歳入の確保等に取り組み、50%を超える進捗率となったが、目標値を下回った。 計画に掲げる各項目のうち、「歳入の確保」や「公有財産等の長寿命化と有効活用」が目標値を下回っており、全体としても下回る結果となった。 	
	目標達成に向けた今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> 目標値達成に向け、前期実行計画に基づいた取り組みを着実に進めるとともに、引き続き新たな行財政改革に取り組むことにより、効率的かつ効果的な行財政改革を進めていく。 	
	担当課		総合政策部 経営改革課	

評価指標				傾向
5 人口1万人あたり職員数	定義	方向性	各年4月1日における企業会計を除く人口1万人あたりの常時勤務する一般職の職員数	<p>人口1万人あたり職員数</p>
	実績値の評価・分析		<ul style="list-style-type: none"> 前年度より6名増員したことにより、人口1万人あたりの職員数も0.5ポイント増加した。 再任用職員(非常時勤務)が前年度から減少したため、減少分を正職員(常時勤務)で補充したことが増員につながった。 	
	目標達成に向けた今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度から34年度を計画期間とする職員定数管理計画を基本とするが、市民ニーズにきめ細かく対応するために、業務量に応じた職員数を配置する必要がある。 	
	担当課		総合政策部 経営改革課	

評価指標				傾向
6 ふるさとづくり寄附金の受入件数	定義	方向性	個人寄附と団体寄附の合計件数	<p>ふるさとづくり寄附金の受入件数</p>
	実績値の評価・分析		国の制度改革によるふるさと納税への関心の高まりと、記念品贈呈制度の充実や納付環境の整備を行ったことにより大幅に増加した。	
	目標達成に向けた今後の課題		引き続き制度の充実やPRの強化を行うとともに、事務の効率化を図り、寄付者への迅速な対応を行い、さらなる寄付件数の増加をめざす。	
	担当課		総合政策部 かわにし魅力推進室	

評価指標				傾向
7 社会増減数(転出入)に占める生産人口割合	定義	方向性	転入者に占める生産人口割合－転出者に占める生産人口割合	<p>社会増減数(転出入)に占める生産人口割合</p>
	実績値の評価・分析		転入者に占める生産年齢人口割合は増加したものの、転出者に占める割合についても増加したため、結果として前年度よりも低率となった。	
	目標達成に向けた今後の課題		社会増減数は様々な要因が考えられるが、20歳代、30歳代の転出入数が他の年代に比べて多いため、この年代の人が定住地として本市を選択するように、ターゲットを明確にしたPRが必要である。	
	担当課		総合政策部 かわにし魅力推進室	

施策別 行政サービス成果表

視点	05 行政経営改革大綱		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	10 挑む	コスト 合計	3,424,311千円	5,645,981千円	5,260,404千円			14,330,696千円
施策	47 持続可能な財政基盤を確立します							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
財政運営事業	6,661千円	43,805千円	2,568,989千円	2,619,455千円	総合政策部 財政課
会計管理事業	11,009千円	47,766千円	0千円	58,775千円	会計課
未利用公有地活用事業	844,611千円	17,522千円	0千円	862,133千円	総務部 管財課
基金管理事業	1,056,502千円	0千円	0千円	1,056,502千円	総合政策部 財政課
市民税賦課事業	59,004千円	96,371千円	0千円	155,375千円	総務部 市民税課
軽自動車税及びその他諸税賦課事業	6,198千円	8,761千円	0千円	14,959千円	総務部 市民税課
固定資産税・都市計画税賦課事業	83,705千円	126,615千円	0千円	210,320千円	総務部 資産税課
徴収及び収納事業	134,887千円	105,132千円	0千円	240,019千円	総務部 市税収納課
滞納対策事業	2,633千円	39,005千円	0千円	41,638千円	総務部 債権回収課
市債管理事業…元金	4,729,954千円	0千円	0千円	4,729,954千円	総合政策部 財政課
市債管理事業…利子	491,504千円	0千円	0千円	491,504千円	総合政策部 財政課
市債管理事業…利子(一時借入金利子)	265千円	0千円	0千円	265千円	総合政策部 財政課
市債管理事業…公債諸費	963千円	0千円	0千円	963千円	総合政策部 財政課

(注)市債管理事業費(元金および利子(一時借入金利子除く))については、公債費として該当事業に分類計上しているため、コスト合計には含めないものとする。

【施策評価指標】

評価指標				
1 実質赤字比率	定義	方向性	一般会計・用地先行取得事業特別会計・中央北地区土地区画整理事業特別会計を合算し、赤字の大きさを示すもの	➔
	実績値の評価・分析	実質赤字は、前年度同様発生していない。		
	目標達成に向けた今後の課題	持続可能な行財政運営をめざして、基金残高を確保していく必要があるため、これまで以上に健全な財政運営に努めていく必要がある。(早期健全化基準:11.81%)		
	担当課	総合政策部 財政課		

評価指標				
2 連結実質赤字比率	定義	方向性	一般会計・特別会計・公営企業会計を合算し、市全体の赤字の大きさを示すもの	➔
	実績値の評価・分析	病院事業会計では資金不足が発生しているが、連結赤字は前年度同様発生していない。		
	目標達成に向けた今後の課題	持続可能な行財政運営をめざして、基金残高を確保していく必要があるため、これまで以上に健全な財政運営に努めていく必要がある。(早期健全化基準:16.81%)		
	担当課	総合政策部 財政課		

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向														
3 実質公債費比率	定義	方向性	全会計の当該年度の償還金(地方債等)の市税などに対する割合	<p>実質公債費比率</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>11.4</td></tr> <tr><td>H25</td><td>12.3</td></tr> <tr><td>H26</td><td>11.9</td></tr> <tr><td>H27</td><td>12.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>-</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>13.5</td></tr> </table>	項目	値	基準値	11.4	H25	12.3	H26	11.9	H27	12.2	H28	-	目標値	13.5
	項目	値																
	基準値	11.4																
	H25	12.3																
H26	11.9																	
H27	12.2																	
H28	-																	
目標値	13.5																	
実績値の評価・分析		公債費に対する財源(用地特会減債基金繰入)が減少したことにより0.3ポイント悪化した。																
目標達成に向けた今後の課題		公債費が将来の財政運営を圧迫しないよう、国の経済対策による財源を有効活用するなど、将来の負担に配慮した財政運営を行っていく。(早期健全化基準: 25.0%)																
担当課		総合政策部 財政課																

評価指標				傾向														
4 将来負担比率	定義	方向性	公社や第3セクターも含めた市の全ての債務の市税等に対する割合	<p>将来負担比率</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>160.9</td></tr> <tr><td>H25</td><td>147.3</td></tr> <tr><td>H26</td><td>133.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>114.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>-</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>159.6</td></tr> </table>	項目	値	基準値	160.9	H25	147.3	H26	133.4	H27	114.1	H28	-	目標値	159.6
	項目	値																
	基準値	160.9																
	H25	147.3																
H26	133.4																	
H27	114.1																	
H28	-																	
目標値	159.6																	
実績値の評価・分析		川西市都市整備公社や猪名川上流広域ごみ処理施設組合などの負担見込額の減少、基金残高の増加に伴い、将来負担比率が改善した。																
目標達成に向けた今後の課題		投資的経費について、国の経済対策による財源を活用するなど、現在と将来の負担のバランスに配慮した財政運営を行っていく。(早期健全化基準: 350.0%)																
担当課		総合政策部 財政課																

評価指標				傾向														
5 経常収支比率	定義	方向性	経常一般財源総額に対する経常経費充当一般財源の割合	<p>経常収支比率</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>97.4</td></tr> <tr><td>H25</td><td>96.5</td></tr> <tr><td>H26</td><td>96.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>94.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>-</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>92.0</td></tr> </table>	項目	値	基準値	97.4	H25	96.5	H26	96.4	H27	94.4	H28	-	目標値	92.0
	項目	値																
	基準値	97.4																
	H25	96.5																
H26	96.4																	
H27	94.4																	
H28	-																	
目標値	92.0																	
実績値の評価・分析		地方消費税交付金など一般財源の増加が、経常的な経費に充当する一般財源の増加を上回ったため、改善した。																
目標達成に向けた今後の課題		地方消費税交付金の増加による改善については、今後、社会保障の充実による負担が出てくるため、一時的なものと考えられる。引き続き、経常的な経費の見直しを進め、経常収支比率の改善に努める。																
担当課		総合政策部 財政課																

施策別 行政サービス成果表

視点	05 行政経営改革大綱		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	10 挑む	コスト 合計	370,173千円	376,415千円	397,319千円			1,143,907千円
施策	48 職員の意欲と能力を高めます							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
情報化事業	189,824千円	43,805千円	0千円	233,629千円	総務部 情報政策室
人事給与管理事業	52,268千円	52,566千円	0千円	104,834千円	総務部 職員課
福利厚生事業	14,617千円	17,522千円	0千円	32,139千円	総務部 職員課
職員研修事業	9,195千円	17,522千円	0千円	26,717千円	総務部 職員課

【施策評価指標】

評価指標				傾向														
1 仕事にやりがいを感じている職員の割合	定義	方向性	職員満足度アンケートより	<p>仕事にやりがいを感じている職員の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>84.2</td></tr> <tr><td>H25</td><td>87.2</td></tr> <tr><td>H26</td><td>81.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>85.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>90.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>90.0</td></tr> </table>	年度	割合 (%)	基準値	84.2	H25	87.2	H26	81.4	H27	85.2	H28	90.0	目標値	90.0
	年度	割合 (%)																
	基準値	84.2																
	H25	87.2																
H26	81.4																	
H27	85.2																	
H28	90.0																	
目標値	90.0																	
実績値の評価・分析		・基準値を上回っている。また、昨年度に比較し、3.8ポイント上昇した結果となった。																
目標達成に向けた今後の課題		・今後においても、人事諸制度を機能的に連携させていく。 ・職員の意欲と能力が発揮できる体制を構築していく。																
担当課		総務部 職員課																

評価指標				傾向														
2 「職場で部下や後輩の育成が行われている」と思う職員の割合	定義	方向性	職員満足度アンケートより	<p>「職場で部下や後輩の育成が行われている」と思う職員の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>79.5</td></tr> <tr><td>H25</td><td>81.0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>81.1</td></tr> <tr><td>H27</td><td>84.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>85.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>85.0</td></tr> </table>	年度	割合 (%)	基準値	79.5	H25	81.0	H26	81.1	H27	84.5	H28	85.0	目標値	85.0
	年度	割合 (%)																
	基準値	79.5																
	H25	81.0																
H26	81.1																	
H27	84.5																	
H28	85.0																	
目標値	85.0																	
実績値の評価・分析		・基準値に対し、実績値は上昇傾向であり、目標値の達成に近づいている。																
目標達成に向けた今後の課題		・職員の意欲と能力及び組織力の向上のため、市独自研修や派遣研修などを効果的に実施していかなければならない。																
担当課		総務部 職員課																

施策別 行政サービス成果表

視点	05 行政経営改革大綱		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	10 挑む	コスト 合計	1,071,878千円	901,938千円	2,630,548千円			4,604,364千円
施策	長期的展望に立 49 ち、公共施設を整 備・保全します							

【事業・コスト一覧】

事業名	27年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
庁舎維持管理事業	140,920千円	8,761千円	181,357千円	331,038千円	総務部 管財課
公共施設マネジメント事業	86,148千円	35,044千円	467千円	121,659千円	都市政策部 公共施設マネジメント室
キセラ川西内複合施設整備事業	22,817千円	17,522千円	0千円	40,339千円	都市政策部 公共施設マネジメント室
市民体育館・運動場整備PFI推進事業	101,877千円	8,761千円	0千円	110,638千円	都市政策部 公共施設マネジメント室
清掃事務所整備事業	3,024千円	8,761千円	0千円	11,785千円	都市政策部 公共施設マネジメント室
消防本部・防災施設整備事業	1,906,578千円	0千円	0千円	1,906,578千円	都市政策部 公共施設マネジメント室
川西北小学校大規模改造事業	19,596千円	0千円	0千円	19,596千円	都市政策部 公共施設マネジメント室
施設設計監理事業	1,305千円	87,610千円	0千円	88,915千円	都市政策部 公共施設マネジメント室

